

【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:5月】

平成24年5月11日(総12第15号)
在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

3月中旬にバリ島のデンパサール市西部及びサヌール地区の二カ所において、インドネシア国家警察対テロ部隊(DENSUS88)によりテロリスト容疑者5名が射殺される事件が発生し、その後同グループの2名が逃亡中とされていましたが、逃亡中の2名は4月中にすでに逮捕され、身柄をジャカルタに移送されている由です。

2 一般情勢

- (1)4月24日、バリ州バンリ県トゥンブク郡在住の8歳の女儿が鳥インフルエンザに感染し死亡しました。今年のバリ州での鳥インフルエンザによる死者は2名となりました。バリ州では、デンパサール市内を始め各地で鶏が大量死する事例がみられ、当局は、鳥インフルエンザ蔓延への警戒を呼びかけています。鳥インフルエンザ予防対策等については在インドネシア大使館ホームページ www.id.emb-japan.go.jp/flu.html をご覧下さい。
- (2)5月1日、狂犬病発症の疑いでサンラ病院に搬送されたカランアッサム県の55歳男性が死亡しました。同男性は、2か月前に犬に噛まれた後、ワクチンを投与していなかった由で、バリ島では2008年11月以降、犠牲者が140人に上っています。犬や猿等に噛まれた場合には、傷口に石けんを付け、10分～15分間水で洗い流し、速やかに病院を受診して下さい。狂犬病については当館ホームページ www.denpasar.id.emb-japan.go.jp/japan/04_02safe.html をご覧ください。
- (3)バリ州交通警察によれば、2012年1月～3月までのバリ州での交通事故による死者数は、前年同期に比較して増加(前年128名→本年150名)しており、州内の車両台数の増加が関連していると思われる由です。
- (4)4月中旬、タンプリンガン湖とブヤン湖の水位が上昇し、湖畔の30数世帯が避難をしました。現場付近の道路も一部水没したということです。付近を走行する場合、特に、夜間の通行には注意して下さい。

3 邦人事故・事件関連

- (1)4月下旬、ウブド地区において日本人旅行者が運転する普通自動車とインドネシア人が運転する自動二輪車が衝突し、インドネシア人が死亡するという交通事故が発生しています。警察から事故時の状況を聴取したところ、現場は緩やかなカーブとなっており、バイクが曲がりきれず中央車線をはみ出して対向の自動車に衝突したということでした。
自動車を運転する場合には、自分が気をつけても交通事故に巻き込まれるおそれがあります。極力、自ら運転することを控えてください。やむを得ず運転する場合には、特に、交通渋滞の激しい道路や峡路、山間部の閑散な道路では十分に注意して運転して下さい。
- (2)パンク盗が発生しています。パンク等の異常が発生した場合には安全な場所に停車して、車を降りる際にはドアロックをする等の対策を行ってください。
- (3)4月下旬、ロンボク県内の小島にあるカフェバーで行われていた「トランス・パーティー」に誘われ、合成麻薬、マジック・マッシュルーム等を使用して被害妄想的な症状に陥り、自分は追われているとしてバリ島内を3日間ほど逃げ回っていたと述べる邦人旅行者がいました。薬物犯罪は死刑を含む厳しい処罰が科せられます。薬物または薬物と疑われるようなものには絶対に係わらないで下さい。
- (4)邦人旅行者が、ある在留邦人女性の案内でガムランボールを購入しようとした際、2個で50

0,000ルピアとの案内であったため、クレジットカードで購入したが、その後ホテルに戻りクレジットカード利用明細書を確認したところ、5,000,000ルピアとなっていた。購入した店に電話したが、すぐに電話を切られ、その後は繋がらない状況となった、ということでした。

この種のクレジットカード詐欺に対しては、信用のおける店でクレジットカードを使用することが重要であり、クレジットカードで購入する際には、品物をよく見て、金額に間違いがないかよく確認し、控えを必ず受け取ることが重要です。

以上